

平成31年度農業委員会総会議事録

| | |
|------|--|
| 日時 | 平成31年4月18日（木）午後1時30分～ |
| 場所 | さぬき市寒川農村環境改善センター |
| | 開会 会長挨拶 来賓祝辞 議事録署名委員の選任 議事 議案第1号 平成30年度事業報告の承認について 平成30年度の目標及びその達成に向けた活動報告について 議案第2号 平成31年度事業計画（案）について 平成31年度の目標及び達成に向けた活動計画（案）について |
| 出席委員 | 農業委員 1 楠 豊 2 蓮池 秋男 3 上野 壽雄 4 蓮井 セツ子 5 松岡 浩二 6 稲田 俊美 7 大塚 ノブ子 8 岡村 義弘 10 神野 太 11 佐藤 恭一 12 芳竹 和政 13 岩澤 佳宣 14 寒川 巧 15 十河 道夫 16 藤澤 明 17 岩崎 治樹(会長職務代理者) 18 松原 俊幸(会長) 農地利用最適化推進委員 1 山下 加代子 2 古川 真吾 10 林 文夫 11 瀬尾 良二 12 池田 槇夫 13 岡谷 博 16 池田 幸嗣 17 秋友 忠 18 川田 政美 19 児玉 和宏 20 鹿谷 明弘 21 寒川 孝志 22 八木 康夫 23 安西 俊博 24 有友 亮 25 戸田 修治 26 江崎 雅典 27 細川 和美 28 金藤 壽彦 |
| 欠席委員 | 農業委員 9 小川 義洋 農地利用最適化推進委員 3 行梅 義照 4 石川 智治 5 大山 博美 6 半田 祐規 7 松岡 勝 8 比貝原 孝博 9 多田 正憲 14 岸下 甫 15 藤井 景治 |
| 事務局 | 藤井 浩局長、山下智資課長補佐、北野茂雄課長補佐、脇谷哲士主任主事 |
| 来賓 | さぬき市 大山 茂樹 市長 香川県農業会議 近藤 弥 事務局長 香川県東讃農業改良普及センター 古市 崇雄 所長 |
| 傍聴者 | 無 |

事務局長

平成 31 年度さぬき市農業委員会総会を開催したいと思います。本日の出席委員を報告します。農業委員総数 18 名中 17 名の出席で農業委員会法第 27 条第 3 項の規定により総会の成立要件を満たしていることをここに報告いたします。なお、本日の総会につきまして農地利用最適化推進委員の方々にもご出席いただいていますので、重ねてご報告いたします。

では、最初に農業委員会松原会長にご挨拶をお願いします。

議長（会長）

みなさん、こんにちは。

平成 31 年度の農業委員会総会に先立ちまして一言ごあいさつを申し上げます。本日は公務ご多忙の中、さぬき市 大山市長様、香川県農業会議 近藤事務局長様、香川県東讃農業改良普及センター 古市所長様のご臨席をいただき、お礼申し上げます。

さて、本市農業委員会は、改正農業委員会の施行を受け一昨年 7 月 20 日に新体制に移行しました。

本市では新たな農業委員 18 名、農地利用最適化推進委員 28 名が誕生しました。農業・農村の活性化、農地を守り有効利用を推進、地域農業を再構築すべきことは、これまでと変わりありません。農業委員、推進委員、事務局とともに、農地機構との連携のもと、県農業会議及び東讃農業改良普及センター様のご指導を仰ぎ「担い手への農地利用の集積・集約化」、「遊休農地の発生防止と解消」、「新規参入の促進」など「農地利用の最適化の推進」に向けて、一層努力してまいります。

どうか、委員各位におかれましては、前向きな議論を期待いたしまして、本日の平成 31 年度通常総会のあいさつといたします。

事務局長

本日の総会に大山市長様にご臨席いただいております。
ご祝辞をいただきたいと思います。

大山市長

みなさんこんにちは。今日は本当にすばらしい天気で農業委員会の平成 31 年度の総会を天も祝福してくれているのではないかと考えています。ただ、農作物にとってはこういった天候が良いのか悪いのかは聞いてみないと分かりませんが、人間にとっては本当にすばらしいお天気に恵まれました。

先ほど皆さんの前で表彰、感謝状を受けられました個人としては、松原会長また、岩崎職務代理、さらには農業委員会そのものにとってもそのようなところから表彰並びに感謝状をいただくことはさぬき市にとっても名誉なことであるでしょうし、お二人のこれまでのご尽力ご功績と合わせて皆方の御協力の賜物でないかと心から敬意を表する次第であります。

先ほど、松原会長さんからお話がありました、今、日本は農業を含めて大きな転換期に来ていると思っております。くしくも元号年号については 5 月 1 日から令和となることに決まりました。令和については、テレビや新聞で皆さんも何度も気になっているので説明をする必要はないかも知れませんが万葉

集の序文の中の「初春の令月にして、氣淑く風和ぎ」という中から令と和をとったそうであります。日本の独自の元号については大化の改新で有名な大化から令和まで過去に 248、そのなかで「令」という漢字を使ったので今回が初めてだそうであります。平和の和であります令和の和は昭和もそうですが過去 20 回使われています。この意味はいろいろあるでしょうが私はこういうふうと考えています。

農業というのは日本の瑞穂の国と言われる国を支える基幹的な産業であり、そして古い良きものについては守らなければなりません、改めるものもあるだろう、そういった意味では今まで使われていない令という言葉が使われたのは新しいことも果敢にチャレンジをしないと農業たりともこれから発展することは難しいという意味があるのではないかなど。しかし、令和の「和」のように今まで使われてきたことそして昔も今も大事なこと、これは、私たちは忘れてはいけない、そういう教訓にすべきではないかと思えます。とは言いながら、今日お越しの皆様は若い人が多いでしょうけれどもこれからやっていくくれる担い手が少なくなっている、そして今、現場で働いてくれている方が毎年、毎年、年を重ねているというのは事実としてきちっと受け止めて、どうしてそういうふうになるのか、これを脱するにはどんなことが必要なのか、そういったことを今一度、元号が変わる 5 月をひとつのきっかけにして考えてならなければならないなと思っております。

また、農業委員会のいろんな役目も法律が変わりまして、今まで以上にたくさんの方に関わっていただいて本当にこの地域のために地域の人と一緒にやってやる産業としてこれから発展をしていくことが私たちには求められているのではないかと思います。行政として、今まで国とか県がこういっているからといって、少し腰が引けている部分があったかもわかりません。まあ、さぬき市はもっと腰を引いてくれと言われたことがありますけれども、そういう意味では私どもも新たな農業を皆さんと一緒に考えていかなければならないと思っています。そのためには補助金だけでやっていく状態から、なんとか自分の力で今以上に、一歩でも 2 歩でも次の世代に受け継いでもらえるような農業をこれからつくっていかなければならない。

そして、そのことこそが、日本が来年はオリンピック・パラリンピックがありますけれども、世界の中で日本という国がもし価値があるといわれるとすればこの農業というものを守り、そして発展させ、そういうことだと思っています。

さぬき市も守るつなぐ進化するということを旗印にいろんな取り組みをしていますけれども、農業の場合もいいものをきちっと守って、そして次の世代に繋いでいって、今よりも少しでもよく進化させることをこれまで以上に肝に銘じて市政に取り組んでいきたいと思っています。

結びになりましたが、皆様のお力をお借りしなければ農業の発展そして地域の発展はないと思っています。どうかこれまでと同じように、これまで以上に御理解と御協力をいただいて、そのお気持ちが市としてもこれまで以上に、答えるようにがんばっていきたく思います、さぬき市農業委員会が松原会長、また、岩崎職務代理を中心にこれまで以上に発展をされますことを。

そして、今日お越しの皆さん一層のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます、平成 31 年平成として冠のある最後の総会でのお祝い、お礼のご挨拶にさせていただきます。本日の開催、誠にありがとうございます。

事務局長

続きまして一般社団法人香川県農業会議の近藤事務局長様にご臨席いただいております。ご祝辞をいただきたいと思っております。

近藤事務局長

失礼いたします。ご紹介授かりました香川県農業会議の近藤でございます。さぬき市農業委員会の農業委員の皆様方、また、農地利用最適化推進委員の皆様方には、日々の活動等に対しまして、厚くお礼申し上げます。

先ほどお話がありましたとおり本日の総会は平成 31 年度最初の総会でありまして、一方では、平成最後の総会になるということでございます。

先ほど代読させていただきましたが、全国農業新聞受賞、感謝状をお伝え致しましたが、皆様方のご協力のもと賞を取られたわけでございます、引き続き全国農業新聞の購読をお願いしたいと思っております。全国農業新聞の話題ばかりで申し訳ないのですが、平成 28 年度の時、さぬき市農業委員会は 128 部でございます。それが、平成 29 年度には 99 部まで落ちて、現在は 126 部という状況となっております。まさに V 字回復となっております。

本日、持ち込みしております紙面にありますように、農業委員会は平成 28 年 4 月 1 日に一新されてスタートし既に 3 年が経過し、この 3 年間におきまして全国で 1,703 の農業委員会全てが新体制に移行を終え、今度は 4 年目を迎えることとなります。まさに、第 2 ステージになるのですが、兼ねてから提案しておりますように、農地利用の最適化、推進委員の強化でございます。今後は具体的に地域で農業委員、農地利用最適化推進委員、皆さん方が地域の中で具体的に活動をおこしていくという非常に重要な時期に来たと認識しております。

本農業会議におきましても、ご支援、ご協力させていただきたいと思っておりますので、是非、さぬき市内の農地・農業は皆様を守る、満たしているということ、心を持って取り組んでいただきますようお願い申し上げます、非常に簡単ですが、総会に対しましてのご挨拶に代えさせていただきます、本日は誠にありがとうございます。

事務局長

ありがとうございました。引き続きまして、香川県東讃農業改良普及センター古市所長様にご臨席いただいております。ご祝辞をいただきたいと思っております。

古市所長

失礼いたします。皆さん、こんにちは。本日は平成 31 年度さぬき市農業委員会総会にお招きいただき誠に有難うございます。只今、ご紹介いただきました東讃農業改良普及センターの古市でございます。この度の人事異動で、岡崎所長の後任ということで農業試験場から転任して参りました。まずは、総会に先立ちまして、本日、さぬき市農業委員会の皆様方に日頃の東讃地域の農業・

農村の地域活性化並びに普及センター私どもの活動に対しましてご理解とご協力を賜りますこと厚くお礼申し上げる次第です。

さて、最近の農業・農村を取り巻く情勢につきましては、農業従事者の高齢化による耕作放棄地、また、鳥獣被害が増加しており、将来の農業・農村の維持・発展に対する懸念が高まっているものと存じます。

こうした中、本県においては、平成 28 年度から 5 年間を見据えた「香川県農業・農村基本計画」を策定しております。農業の持続的発展と笑顔で暮らせる農村の実現を基本目標に、本県農業の中核となる力強い担い手の確保・育成などに取り組んでいるところでございます。我が東讃管内の担い手の確保状況については、昨年度 3 月末時点ですけれども新規就農者 48 名、認定農業者は約 600 経営体に増加、集落営農組織は 3 組増え、93 組織になり、地域農業の中核となる力強い担い手は、一定着実に増えているところでございます。今後、こうした担い手の確保、育成により、地域農業の維持・発展に向け、農地中間管理事業等を効果的に活用し、人・農地プランの実質化に向けて農地の集積や集約化を一層推進することが重要だと考えております。こうした観点から、地域の世話役であり、農家の相談役でもある農業委員の皆さん、農地の有効活用や担い手への利用集積を担う農業委員会の役割は、ますます高まるものと考えております。

普及センターといたしましても、担い手育成部門に職員を増員するとともに、農地集積・集約化推進チームを新設し、農業委員会の皆様とも密接な連携をいただきながら、さぬき市さんや J A 大川地区営農センターさん共々、担い手の確保、育成に全力で取り組む所存でございます。何卒ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

最後になりますが、さぬき市農業委員会の益々のご発展と、今日ご参集の皆様方のご健康、ご多幸を祈念いたしまして総会のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

事務局長

ありがとうございました。市長様におかれましては公務の都合により退席させていただきます。

次に総会の議長につきましては、さぬき市農業委員会総会会議規則第 10 条に「会長は総会の議長となり、議事を総理する」と定められておりますので、会長のほうで進行をお願いします。

議長（会長）

定めによりまして、会長が議長を努めるということなので私のほうで総会を進めさせていただきます。まず、議事の進行につきましてご協力をお願い致します。

「議事録署名委員の選任について」ですが、規程に従い私のほうから指名致します。

では、14 番寒川委員、15 番十河委員の両委員さんお願いします。

続いて、議事に入りたいと思います。議案第 1 号「平成 30 年度事業報告の承認について」、「平成 30 年度の目標及びその達成に向けた活動報告について」

を上程します。
事務局より説明を求めます。

事務局

議案第 1 号 平成 30 年度事業報告の承認について

- 1 平成 30 年度概況報告
- 2 総会及び地区代表者会の開催状況
- 3 定例会の開催状況
- 4 その他の会議の開催状況
- 5 農地関係取扱状況
 - (1) 農地法 3 条件数及び面積集計表
 - (2) 農地法 4 条件数及び面積集計表
 - (3) 農地法 5 条件数及び面積集計表
 - (4) 非農地証明願集計表
 - (5) 各種証明関係集計表
 - (6) 農業振興地域整備計画変更（個別除外）審議集計表
 - (7) 農地利用状況調査実施結果
- 6 農政関係取扱状況
 - (1) 農業経営基盤強化促進法による流動化実績
 - (2) 農業者年金事務
 - (3) 女性委員会議の開催状況
 - (4) 農業委員会広報活動の実施状況
 - (5) 農家相談会の実施状況
 - (6) 市単独農業委員研修の実施状況
 - (7) 平成 30 年度の目標及びその達成に向けた活動報告について

議長（会長）

事務局の説明が終わりました。「平成 30 年度事業報告の承認について」、「平成 30 年度の目標及びその達成に向けた活動報告について」の委員皆様のご意見をお聞きしたいと思います。

全委員

「異義なし」との声あり。

議長（会長）

議案第 1 号「平成 30 年度事業報告の承認について」、「平成 30 年度の目標及びその達成に向けた活動報告について」は承認いただいたものとします。

続いて、議案第 2 号「平成 31 年度事業計画（案）について」、「平成 31 年度の目標及び達成に向けた活動計画（案）について」を上程します。事務局に説明を求めます。

事務局

議案第 2 号 平成 31 年度事業計画（案）について

- 1 平成 31 年度事業方針
- 2 事業内容
- 3 平成 31 年度の目標及び達成に向けた活動計画（案）について

議長（会長） 事務局の説明が終わりました。「平成 31 年度事業計画（案）について」、「平成 31 年度の目標及び達成に向けた活動計画（案）について」委員の皆様のご意見をお聞きしたいと思います。

全委員 「異議なし」との声あり。

議長（会長） それでは「異議なし」と認め、議案第 2 号「平成 31 年度事業報告（案）について」、「平成 31 年度の目標及び達成に向けた活動計画（案）について」は原案承認とします。（案）という字を消してください。

本日の上程議案については議了致しましたが、他に委員さん、事務局から発言がありましたら発言を認めます。

全委員 発言なし。

議長（会長） それでは、平成 31 年度農業委員会総会を閉会します。

長らくのご審議ありがとうございました。

尚、午後 3 時から農業委員会定例会を開催致しますので、ご出席をお願いします。

（14 時 45 分閉会）

上記は会議の顛末を録して正当なることを証して署名する。

農業委員会会長（議長）

署名委員 14 番

署名委員 15 番